

ポストコロナ期における今後のICT教育の取組みと課題

・「GIGAスクール構想」に基づいた学習環境の整備

.ポストコロナ期における今後のICT教育の取組みについて

1. 教科等の指導におけるICT活用

(1) 授業での児童生徒によるICT活用場面

情報を収集したり選択したりするための活用

インターネットブラウザを活用した学習活動

自分の考えや調べたことをまとめたり、わかりやすく発表したりするための活用

ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを活用した学習活動

繰り返し学習や個別学習による、知識の定着と技能の習熟を図るための活用

デジタルドリルを活用した学習活動)

(2) 授業での教員によるICT活用場面

児童生徒が興味・関心を高めたり、学習課題を明確につかんだりするための活用

教師用デジタル教科書や学習動画等の活用

児童生徒の思考や理解を深めるための活用

授業支援ソフトの活用

(3) 学習評価や授業改善を充実させるためのICT活用場面

授業支援ツールの活用



2. 学校と家庭をつなぐオンライン学習

(1) 新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休業対応時の活用場面

授業支援ツールによる課題の提示や連絡事項の周知
学習動画や自作資料等を活用したオンデマンド学習
ビデオ会議アプリを活用したホームルームや授業

(2) 平時におけるオンライン学習の活用場面

不登校児童生徒や病気療養中の児童生徒の学習機
会の保障と充実

.今後の課題について

1. 児童生徒に対する情報モラル教育と教員研修の一層の充実

児童生徒のネットリテラシーの育成
教員対象研修の実施や好事例の普及

2. 児童生徒用タブレット端末の日常管理

端末管理にかかる教員の負担軽減



3. 家庭における通信環境整備

家庭に向け、学校・教育委員会から協力依頼